

前年度からの変更点				
項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標	2014年度	・メタル（銅・アルミ） 電線はエネルギー消費 量 ・ 光ファイバケーブルはエ ネルギー原単位	エネルギー消費量（メ タル（銅・アルミ）電線 と光ファイバケーブル合 算）	2014年度産業構造審議会の化学・；非 鉄金属部会の席上で、座長より目標指 数を一本化できないのかとのご指摘を 受けたため
2. 目標水準	2013年度	・メタル（銅・アルミ） 電線はエネルギー消費 量1990年度比32%削減 ・光ファイバケーブル はエネルギー原単位 1990年度比79%削減	・メタル（銅・アルミ） 電線はエネルギー消費 量1990年度比34%削減 ・光ファイバケーブル はエネルギー原単位 1990年度比80%削減	総合エネルギー統計の2013年度版の換 算係数を使用して計算した結果、数値 が変更となったことによる。
3. 前提条件	2013年度	電力排出係数発電端調 整後係数	電力排出係数受電端調 整後係数	低炭素社会実行計画における係数は受 電端と決められているため。また、調 整後係数を使用する理由は、日本経済 団体連合会の同作業において使用する ため。
4. 想定しているBAT				
5. データの取扱				
6. 業界間バウンダリー				

※※上記6項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載。前年度からの変更点のみならず、過去の変更情報がある場合、変更情報を累積して記載し、遡って確認できるようにすること。また、行は必要に応じて追加すること。

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO₂排出量、CO₂排出原単位の実績と見通し

指標	単位等	実績																				見通し・BAU水準・BAU比削減目標						
		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度	2030年度
生産活動量	()	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	見通し比(2020年目標)	(%)																										
	見通し比(2030年目標)	(%)																										
エネルギー消費量	原油換算ベース	実績(万k)	63.7	66.2	63.3	59.3	61.8	57.6	54.3	53.6	51.2	50.3	51.0	51.4	46.5	44.8	46.8	45.3	43.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	うち購入電力量	実績(万kWh)	197760.5	205912.1	193536.0	190620.1	199274.1	186208.7	177303.2	173803.6	165819.9	167547.9	174758.3	177121.8	160677.6	154084.7	159869.8	153511.0	148602.3	144966.6	140477.9	139928.3	139834.8	139893.6	141921.7	133807.5		
	原油換算ベース	BAU比削減量(万k)																									0.0	0.0
	進捗率(2020年度目標)	(%)																										
	進捗率(2030年度目標)	(%)																										
	想定比	(%)																										
	CO ₂ 排出量	調整後排出係数	BAU(万t-CO ₂)																		0	0	0	0	0	0	0	0
調整後排出係数		実績(万t-CO ₂)	108.9	101.7	95.4	95.7	100.3	93.3	92.9	97.0	90.2	91.4	89.3	97.4	75.0	69.0	72.0	88.8	85.9	96.1	91.4	88.1	85.3	82.5	78.6	71.7		
調整後排出係数		BAU比削減量(万t-CO ₂)																									0	0
進捗率(2020年度目標)		(%)																										
進捗率(2030年度目標)		(%)																										
エネルギー原単位	原油換算ベース	BAU()																		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原油換算ベース	実績()																										
	原油換算ベース	BAU比削減量()																									0.0	0.0
	進捗率(2020年度目標)	(%)																										
	進捗率(2030年度目標)	(%)																										
CO ₂ 原単位	調整後排出係数	BAU()																		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	調整後排出係数	実績()																										
	調整後排出係数	BAU比削減量()																									0	0
	進捗率(2020年度目標)	(%)																										
	進捗率(2030年度目標)	(%)																										
カバー率実績(企業数)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

○2020年度までの見通し及びBAU比削減量の想定		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
生産活動量	()																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費量	原油換算ベース 実績(万k)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO ₂ 排出量	調整後排出係数 実績(万t-CO ₂)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー原単位	原油換算ベース 実績()																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO ₂ 原単位	調整後排出係数 実績()																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カバー率(企業数)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【備考】
 ※進捗率：2020年度、2030年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。進捗率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2020年度・2030年度の目標水準）×100（％）
 ※想定比：当年度について予め想定した水準を100%として、想定水準と実績との比率。想定比【BAU目標】＝（当年度のBAU比削減実績）／（当該年度に想定したBAU比削減量）×100（％）
 ※カバー率実績（企業数）：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

【別紙6】対策リスト

実施した対策、投資額と削減効果										
	番号	対策名	対策内容	対策実施率	投資額		(年間)		(投資期間全体)	
					数量	単位	数量	単位	数量	単位
2018年度 まで	1	熱の効率的利用	断熱バツル更新		1630	百万円	19,180	t-CO2		
	2	高効率設備導入	冷凍機導入		9438	百万円	169,514	t-CO2		
	3	電力設備の効率的運用	ポンプ、ファン、コンプレッサのインバツタ化		4880	百万円	152,152	t-CO2		
	4	その他	LEDの見える化		4953	百万円	237957	t-CO2		
2019年度	1	熱の効率的利用	炉の断熱改善対策、排熱回収利用		43	百万円	897	t-CO2		
	2	高効率設備導入	照明の高効率化、冷凍機導入		847	百万円	32,556	t-CO2		
	3	電力設備の効率的運用	電装品更新、製造効率改善		629	百万円	29,661	t-CO2		
	4	その他	生産性向上、エネルギーの見える化		1443	百万円	51101	t-CO2		
	5									
2020年度	1	熱の効率的利用	蒸気配管保温強化		26	百万円	838	t-CO2		
	2	高効率設備導入	高圧ボイラー更新		1116	百万円	23,973	t-CO2		
	3	電力設備の効率的運用	不稼働時の電力削減等		396	百万円	19,285	t-CO2		
	4	その他	連続製造ライン歩留向上、現場照明・外灯のLED化		746	百万円	36005	t-CO2		
	5									
2021年度	1	熱の効率的利用	蒸気による加熱から金型温調へ変更		380	百万円	2,622	t-CO2		
	2	高効率設備導入	高圧ボイラー更新、工場エアーコンプレッサ更新最適化		1417	百万円	32,793	t-CO2		
	3	電力設備の効率的運用	ポンプ、ファン、コンプレッサのINV化		469	百万円	28,133	t-CO2		
	4	その他	照明LED化等		1175	百万円	50730	t-CO2		
	5									

- ※1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3～5つ程度記載。
 ※2 対策実施率は、業界内での対策の実施状況（最新設備の導入率等）を記載。
 ※3 2018年度実施の対策は必ず記入すること。

クレジット等の活用実績									
○クレジット合計(参考)									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償却量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○京都メカニズムクレジット									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)									
償却量									
○JCMクレジット									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									
○J-クレジット(国内クレジットも含む)									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									
※ 京都メカニズムクレジットにおいては、政府口座への償却前移転量とする。									

業務部門(本社等オフィス)の対策と削減効果							
	対策項目	削減効果					
		CO2削減量 (t-CO2/年)			エネルギー削減量 (MJ/年)		
		2019年度	2019年度まで	2020年度以降	2019年度	2019年度まで	2020年度以降
照明設備等	昼休み時などに消灯徹底化	16.66	48.01	16.51	337,717	973,117	334,608
	退社時にはパソコンの電源OFFの徹底化	5.17	11.16	4.38	104,792	226,265	88,853
	照明のインバーター化	38.74	230.83	37.27	785,327	4,678,997	755,568
	高効率照明の導入	45.34	200.56	66.48	919,005	4,065,454	1,347,538
	トイレ等の照明の人感センサー導入	0.54	2.64	0.49	11,016	53,496	9,864
	照明の間引き	625.46	309853.23	62486.02	12,678,341	6,280,808,660	1,266,608,550
		731.92		62611.15			
空調設備	冷房温度を28度設定にする	26.92	110.03	26.51	545,746	2,230,350	537,272
	暖房温度を20度設定にする	17.59	43.52	18.70	356,461	882,064	379,077
	冷暖房開始時の外気取り入れの停止	16.60	39.58	5.06	336,464	802,356	102,520
	空調機の外気導入量の削減	12.27	13.13	12.27	248,637	266,068	248,637
	氷蓄熱式空調システムの導入	27.60	8821.69	0.00	559,412	178,818,073	0
		100.97	9027.95				
エネルギー	業務用高効率給湯器の導入	0.00	46.36	0.00	0	939,720	0
	太陽光発電設備の導入	0.00	4.44	0.00	0	90,000	0
	風力発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
建物関係	窓ガラスの遮熱フィルム	3.89	16.14	2.69	78,757	327,209	54,564
	エレベータ使用台数の削減	5.04	22.56	5.04	102,102	457,368	102,102
	自動販売機の夜間運転の停止	0.86	2.41	0.86	17,379	48,774	17,379